

5 洪水 まず体育館→状況により避難場所変更

校舎2階の床 (校庭から…3.30m) 「松戸市地域防災計画」より 浸水想定(最大浸水深)2~5m 市の直行職員と本校の避難所運営支援要員が避難所開設・運営に協力する。

1 避難する時間に余裕が

状況により、体育館ではなく、職員玄関側から校舎内に避難することもある。

ない
ある

市から指定された近隣の避難所に避難する。

松戸市地域防災計画

【新松戸に近い浸水想定区域別避難所】

- ・小金小学校
- ・小金南中学校
- ・東善寺
- ・小金市民センター
- ・ハケ崎小学校
- ・幸谷小学校
- ・松戸第三中学校

※ 本校が避難所指定されることもあります。

直ちに**体育館**、または状況により校舎2階以上に避難

- ・避難スペースにある清掃ロッカーを開け、ガラス等を取り除く。
- ・可能な範囲で危険物を取り除く。危険箇所から離れる。

※ 状況により、前日に「避難運営箱」を2階職員室前に移動することもある。

2 水位が高い場合、体育館の「避難所運営箱」持ち出す余裕が

ない
ある

「避難所運営箱1」に記されている指示に従い行動する。最初に安全チェックを行う。

- ・「安全チェック表」を活用し安全確認をする。
- ・安全確保ができたのち、避難者を受け入れる。

本校避難所運営支援要員が到着するまで、2階以上の空き教室に避難する。

3 災害倉庫から食料等を持ち出す余裕が

ない
ある

- ・簡易備蓄倉庫備蓄品一覧表を見て、優先度の高いものから持ち出す。
- ・一時保管場所は、2階もしくは3階西校舎の空き教室。2階コンピュータ室前の非常階段利用。

4 水が引き、安全が確保できるまで、自助・共助の精神で避難する！

安全点検 → 安全確保後に避難者を受け入れる。安全が確保できない時は他の避難所へ。

学校職員がいる場合は、アナウンス等で避難スペースに誘導する。

避難スペース	まずは 体育館 状況により臨機応変に対応
児童・保護者	北校舎2・3階・屋上 (水位が低いときは、西校舎も使用)
地域の方々	体育館、西校舎2・3階・屋上 (開放スペース 学校長指示)

・状況により無線機とホイップ・アップ・アンテナを体育館または3階校舎に移動する。

2階以上の避難が必要な場合(本部…職員室)

- ・1・2・3・5・6年…自教室
- ・4年…家庭科室
- ・けやき…楽器室

3階以上の避難が必要な場合(本部…児童会室)

- ・1年…6の2
- ・3年…5年学年室
- ・5年…5の1
- ・2年…5の2
- ・4年…6年学年
- ・6年…6の1
- ・けやき…楽器室

※ 靴と傘は、ビニール袋に入れるか、ぞうきん等で拭いて、各自で持って移動させる。

※ 靴と傘を入れるビニール袋は、「避難所運営箱2」にある。

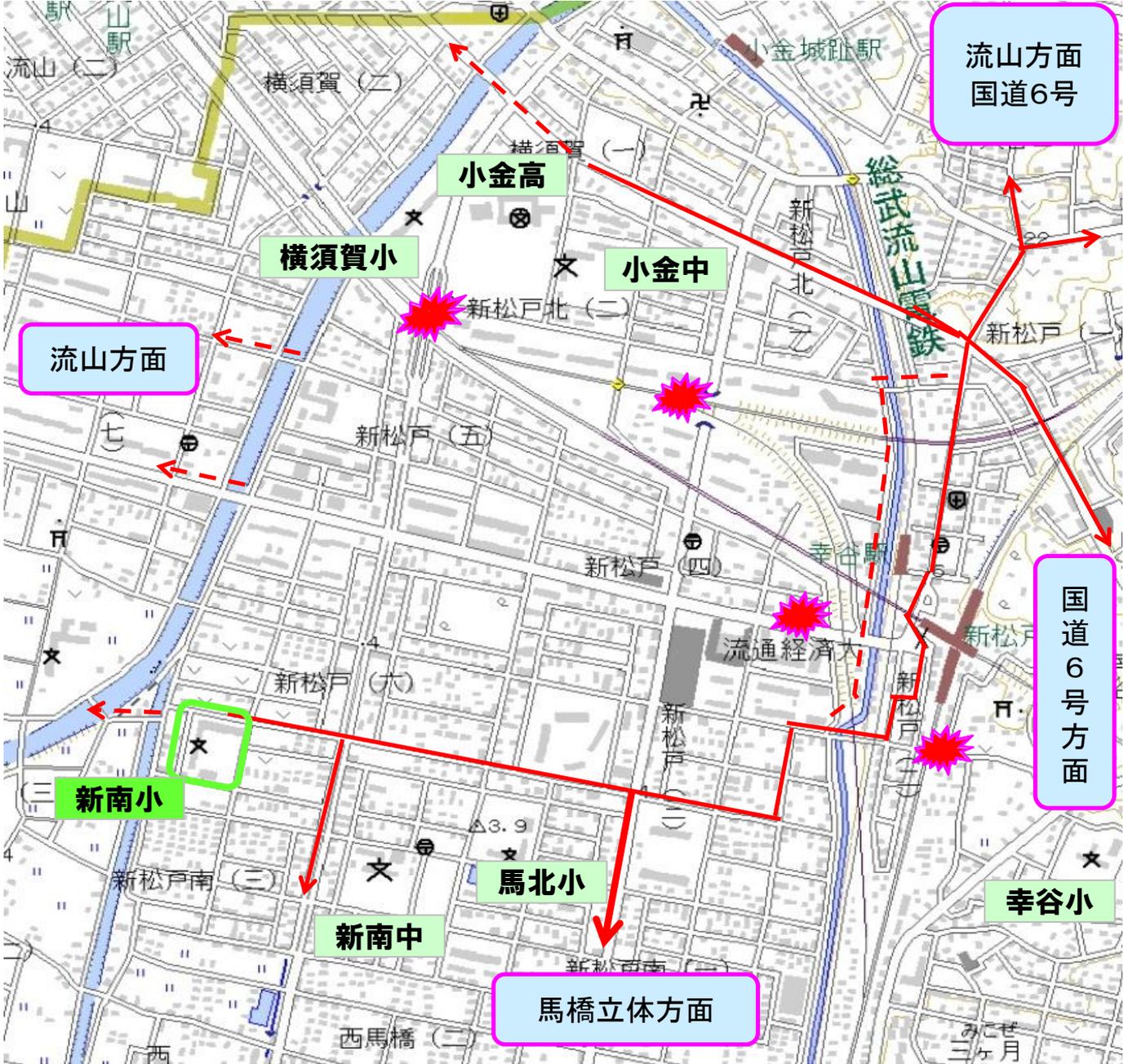
情報収集として活用できるホームページ

国土交通省「川の防災情報」	「坂川・新坂川の防災情報」
気象庁レーダー・ナウキャスト	「降水、雷、竜巻」
東京電力	「雨量・雷観測情報」
国際気象海洋(株)IMOC	「台風経路図」
バイオウェザーサービス	「雲の動き、雨の予想等」
東京アメッシュ	「降水」

冠水 避難する余裕がある場合のルート
浸水

- 冠水の危険性がある場合は、車で移動しない！
- 学校の周囲の道路も冠水しやすい！

— 危険を感じたら、すぐに高台へ —



- 比較的冠水しにくい道路
- - - 状況確認が必要な道路
- ★ 冠水しやすい道路